

MCCIR

Vol. 12 株式会社メガチップス
2010年3月期上半期のご報告
2009年4月1日~2009年9月30日

世界一の笑顔 を世界初の技術で。



社長が語る 業績と戦略

2010年3月期上半期 連結決算ハイライト

メガチップスの 特徴と強み

2010年3月期上半期のご報告
2009年4月1日~2009年9月30日

For a society of
more heartfelt communication
MegaChips

株式会社メガチップス
〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目1番6号 アクロス新大阪
TEL.06-6399-2884(代) FAX.06-6399-2886

<http://www.megachips.co.jp/>



表紙について

メガチップスは、JPEGの次世代静止画像圧縮フォーマットとして国際標準となった「JPEG XR」に対応したIP(知的資産となるLSIの回路設計)を、世界で初めて開発しました。

JPEG XRとは、マイクロソフト社が開発した新たな画像圧縮技術であるHD-Photoをベースにした規格で、従来のJPEGのほぼ半分のファイルサイズで同等以上の画質を実現できます。またJPEGと比較してダイナミックレンジ(明るい部分と暗い部分までの記録できる範囲)を広げることができ、従来表現が難しかった陰影などをより自然に再現することができます。当社はこのIPをデジタルカメラ等の機器上で駆使することで、より自然な画像を身近にしていきます。

※表紙の比較写真はイメージです。



この冊子は、FSC認証紙および大豆油インキを使用しています。
FSCロゴマークは、森林管理協議会(FSC)のルールに則って適切に管理されていると、第三者機関により認証された森林から生産されたものであることを示します。

102-8790

220

東京都千代田区一番町17-6 一番町MMSビル3F

株式会社メガチップス
広報グループ 発行

〒102-8790
3886

差出有効期間
平成22年2月
28日まで
(切手不要)



株主様アンケート

お手数ですが、ハガキにご回答の上、ポストへご投函ください。よりお願ひいたします。

株主様のプロフィールをご記入ください。

- 性別: 男性 女性
- 年齢: 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代~
- 職業: 会社員 自営業 公務員 主婦 無職 その他()
- 当社株式保有数:
 - 単元未満(100株未満) 100-199株 200-299株
 - 300-399株 400-499株 500-999株 1,000株以上
- 当社株式保有期間:
 - 1年 1年以上3年未満 3年以上5年未満
 - 5年以上10年未満 10年以上
- 居住地:
 - 北海道・東北 関東 信越・北陸 東海 近畿
 - 中国 四国 九州・沖縄

※ご記入いただいた情報は、アンケート集計以外の目的には使用いたしません。
※2010年2月28日までに投函ください。

キリトリ線

ハガキをご投函の際は、点線にそって切り離してください。

郵便はがき

料金受取人私郵便

郵便支店承認

売上高

223億2千3百万円
前年同期比17.7%減

営業利益

23億7千万円
前年同期比15.4%減

四半期純利益 (累計)

14億5千7百万円
前年同期比11.8%増

売上高営業利益率

10.6%
前年同期比0.3%増

！ 上半期決算のポイント

● 売上高・営業利益
LSI事業、システム事業ともに既存の主力製品の需要が減少したことにより、売上高、営業利益とも前年同期を下回りました。

● 四半期純利益
特別損失が減少したことに加え、研究開発費にかかる税額控除対象の適用範囲見直しによる法人税等の戻入により、前年同期を上回りました。

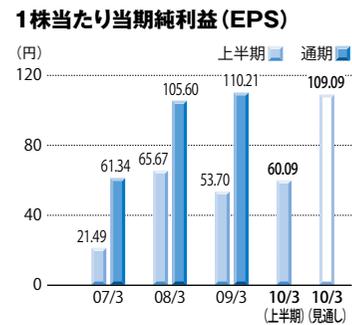
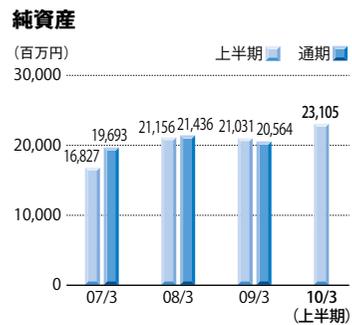
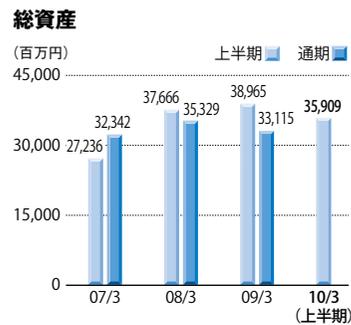
● 売上高営業利益率
収益性の高い製品や開発費収入等により、前年同期比0.3%改善の10.6%になりました。

● LSI事業

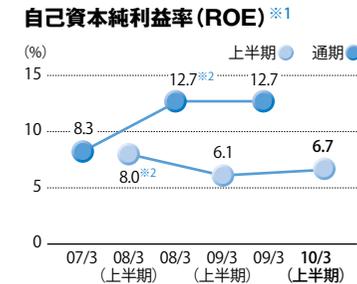
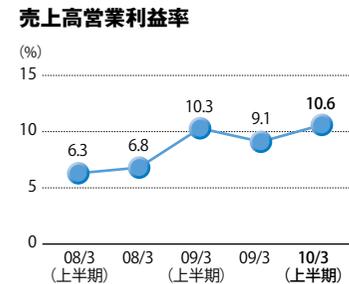
- 主要製品である携帯ゲーム機向けソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリー)の需要が低下
- 新たに録画機能付きハイビジョンテレビ向けLSIが立ち上がったものの、地上デジタル放送ワンセグメント受信用チューナーモジュールの需要が低調に推移

● システム事業

- 顧客専用デジタル映像監視システムの需要が低下



収益性指標



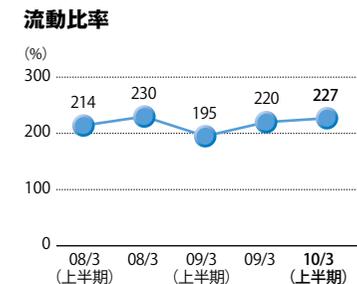
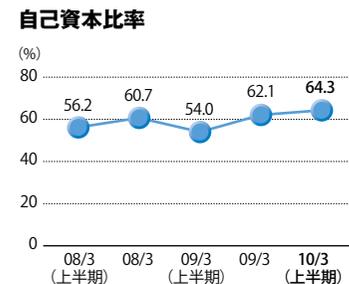
※1 算出の基礎となる自己資本は、期初・期末(上半期末)の平均値を用いています。また、純利益は上半期、通期の純利益の値を用いています。

※2 2008年3月期は、2007年4月1日に連結子会社を吸収合併した際に引き継いだ繰越欠損金の税効果の影響により、純利益が上半期約6億1千2百万円、通期約7億7千万円かさ上げされました。

売上高営業利益率 = $\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}} \times 100(\%)$
営業利益の売上に対する構成比で、この値が高いほど本業における企業の収益力・競争力が高いことを示します。

自己資本純利益率 (ROE) = $\frac{\text{純利益}}{\text{自己資本}} \times 100(\%)$
株主の持分である自己資本に対してどれだけの利益を生み出したかを表す指標で、この値が高いほど、企業の経営効率が高いことを示します。

安全性指標



自己資本比率 = $\frac{\text{自己資本}}{\text{総資産}} \times 100(\%)$
総資産に占める自己資本の割合で、一般的にこの値が高いほど、資本構成が安定し経営の安全度が高いことを示します。

流動比率 = $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100(\%)$
1年以内に返済すべき負債を短期間に換金可能な資産でどれだけカバーしているかを表す指標で、この値が高いほど、債務支払能力が高いことを示します。

生産性指標



従業員1人当たり営業利益 = $\frac{\text{営業利益}}{\text{従業員数}} \times 100(\text{百万円})$
営業利益を期初・期末(上半期末)の従業員数の平均値で除した値で、この値が高いほど、従業員1人当たりの生産性が高いことを示します。

Contents

2010年3月期上半期 連結決算ハイライト	1	IR Information メガチップスのIR活動	11
メガチップスの特徴と強み	3	IRカレンダー/IRサイトのご紹介/株主構成	
メガチップスを知るキーワード	5	アンケート結果報告/2009年度の株主優待について	
社長が語る業績と戦略	6	会社概要/株主メモ	14

◆見直しに関する注意事項

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

コア技術を基盤に、顧客企業の製品開発を支援するソリューションカンパニーです。

ビジネスモデル

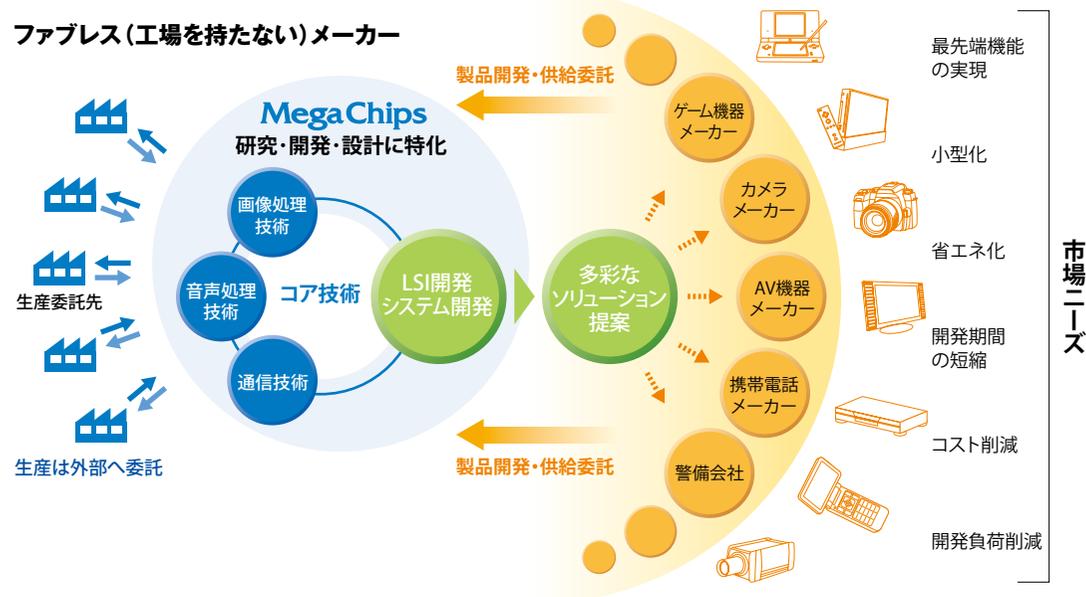
顧客の抱える問題に対して多彩な技術ソリューションを提供

メガチップスは、1990年に「研究開発型ファブレス(工場を持たない)メーカー」というユニークな事業形態で創業。以来、ファブレスを特徴とする高付加価値LSIのメーカーとして、音声・画像・通信分野で顧客企業の製品開発をサポートしてきました。

近年、デジタル機器市場の急激な拡大を背景に、製品の高機能化、多様化が進んでおり、これに伴って顧客メーカーからの要請もますます高度化・多様化しています。

当社は創業以来培った「画像」「音声」「通信」のコア技術を基盤に、「LSI事業」「システム事業」で培ってきたノウハウを融合して、顧客の要望に応じた幅広いソリューションを提供しています。

ファブレス(工場を持たない)メーカー



顧客の高度化・多様化するニーズに幅広く応えます

ファブレスメーカーである当社は、経営資源を研究開発に集中させることで、常に顧客や市場の求める課題に対して多彩なソリューションを提供しています。

豊富な実績を有している高付加価値システムLSI、またLSIおよび周辺部品・ソフトウェアを組み込んだモジュールボードや、さらに筐体を含む最終製品の開発まで、顧客ニーズに柔軟に対応します。



技術力

画像・音声・通信分野の独自技術をコアに独創的な製品を創出

大きな強みは「テクノロジー・プラットフォーム型」、すなわち独自の保有技術を基盤とした事業展開にあります。

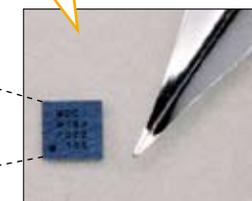
当社は、「画像」「音声」「通信」分野を技術のコア領域と定め、これらの分野で長年開発蓄積してきた独創的なアルゴリズム^{※1}やアーキテクチャ^{※2}をベースに、有力顧客の中長期的なニーズを充足する基礎技術および差別化を実現する応用技術の研究開発に取り組んでいます。これにより、他社では困難な先端機能の実現や、システムLSIの超小型化・低消費電力化といった効果を短期間で効率的に顧客企業へ提供することができます。

※1データの処理手順あるいは手続きや処理方法
 ※2アルゴリズムを実現するためのソフトウェアやハードウェア構成

LSIのコンパクト化をリード

独自のIP(設計資産)で回路の小型化を実現!

従来のLSI(イメージ)



回路の小型化は、生産コストの低減、省エネ化、用途拡大など多くのメリットを顧客企業にもたらします。

主要製品

モバイル、デジタルなど先端分野の機器で当社製品は活躍しています



ゲーム機向けLSI

は任天堂株式会社の登録商標です。
 NINTENDO DS は任天堂株式会社の登録商標です。



デジタル一眼レフカメラ向け画像処理LSI



ハイビジョンAV向けLSI



移動体向け地上デジタル放送関連LSI



ワンセグモジュール



セキュリティ・モニタリング分野向け映像機器

メガチップスを知るキーワード

半導体業界の専門用語やIT用語はよくわからない…。
そんな方にもメガチップスについて、より理解を深めていただけるよう
キーワードをまとめました。ぜひ、ご活用ください。

LSI MegaChips

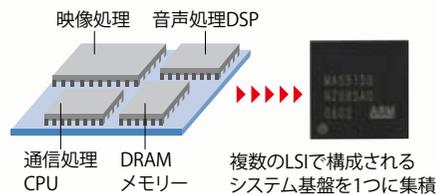
様々な機器に組み込まれ、
各種の機能を実現する半導体集積回路

特定の複雑な機能を果たすために、多数の素子を1つにまとめた電子部品である「半導体集積回路（IC：Integration Circuit）」の一種。LSIとはLarge Scale Integration Circuit（大規模集積回路）の略で、ICよりさらに素子の集積度を高めたものを指しますが、現在では単に半導体集積回路一般を指す言葉として使われています。

システムLSI MegaChips

1つのLSIで機器に求められる
多彩な機能を実現するLSI

これまでに多数のLSIを使用して構成されていたシステムを、1つのLSIに集積したものを、「システム・オン・チップ」とも呼ばれ、単機能を実現するLSIに対して、様々な機能を1つのLSIで実現する多機能なLSIとして注目されています。



ゲームソフトウェア格納用LSI (カスタムメモリー) MegaChips

主に携帯型ゲーム機用ゲームソフトウェア
向けに提供している情報記録専用LSI

「ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリー)」は、特定の顧客向けに製造段階であらかじめソフトウェアや付随データを格納したメモリーで、書き換える必要のない情報や、書き換えられては困る情報の記憶に使われます。メガチップスは任天堂株式会社にこの製品を提供しています。

システム製品 MegaChips

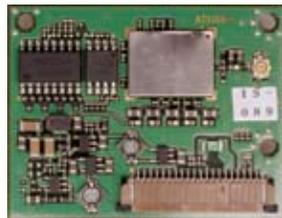
映像・音声・通信分野に強みを持った
高性能システムLSIを搭載した機器

メガチップスの「システム製品」とは、当社独自のシステムLSIを搭載し、映像・音声・通信分野の技術を駆使して開発した機器のことを指します。映像記録機器、映像伝送サーバー、IPカメラなど、画像圧縮や通信関連の技術力をベースにしたシステム製品を開発・提供しています。

モジュール MegaChips

電気機器やコンピューター装置の内部で
一定の機能を実現する構成要素の単位

モジュールは、外観は複数の部品を組み付けた回路基板で、電子機器などの内部に必要な独立した機能を実現するものです。メガチップスでは、ワンセグ用モジュールを開発し、核となるシステムLSIだけでなく、関連電子部品・ソフトウェアを組み込み提供することで、顧客への幅広いサポートを実現しています。



IP (Intellectual Property) MegaChips

システムLSIを構成する機能回路や
ソフトウェアなどの設計資産

IPとはIntellectual Propertyの略で、LSIの設計資産を意味します。具体的には、システムLSIを構成する機能回路やその上で動く組み込みソフトウェアを指し、これらが様々な電子機器の性能・機能を実現しています。メガチップスでは、IPの国内外での権利化をすすめるとともに、その戦略的活用を視野にいれたビジネスを展開しています。



新たな「成長のシナリオ」に向けて
着実に布石を打ち続けています

代表取締役社長 鵜飼 幸弘

2010年3月期上半期の業績は？

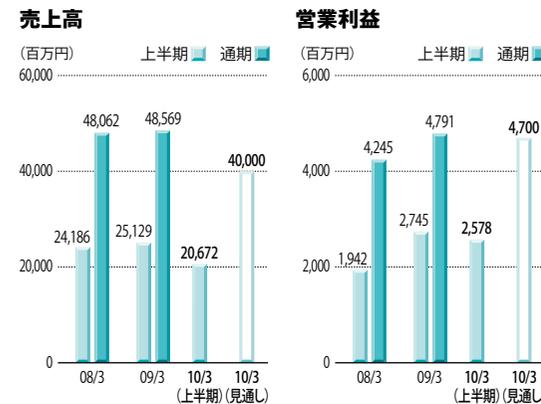
既存製品の需要減少により、売上高、営業利益は期初予想に達しませんが、純利益は期初予想を上回りました。

電子機器市場では、半導体などの電子部品を含め需要減少が続いています。このような市場環境は期初からある程度予想していたことですが、現在の市況は想定をさらに上回る厳しさとなっています。そうした中、当社の2010年3月期上半期の業績は、売上高223億2千3百万円（前年同期比17.7%減）、営業利益23億7千

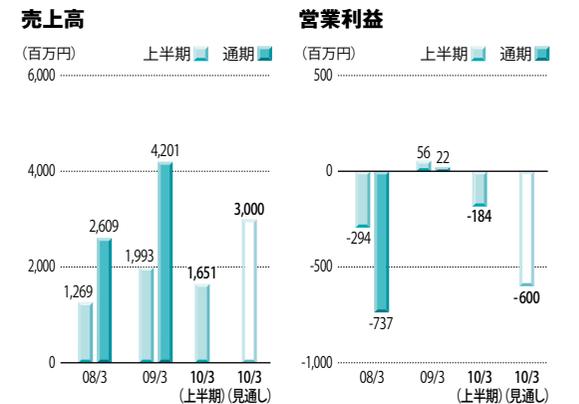
万円（同15.4%減）と、いずれも期初予想をやや下回る結果となりました。ただし純利益に関しては、前年同期比11.8%増の14億5千7百万円の増益となりました。これは特別損失が前年より減少したことに加え、研究開発費に関する税額控除対象の適用範囲見直しにより法人税等の戻入れがあったことなどが主な要因です。

事業セグメント別に見ると、LSI事業では当期より新たに録画機能付きハイビジョンテレビ向けLSIの販売を開始しましたが、主力製品であるゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリー)の需要の伸び悩み、地上デジタル放送ワンセグ受信用チューナーモジュールの需

LSI事業



システム事業





要低調などにより、売上高は前年同期比17.7%減の206億7千2百万円、営業利益は同6.1%減の25億7千8百万円となりました。ただし新製品を含む収益性の高い製品の販売拡大や、積極化している受託開発に伴う開発費収入の伸びにより、売上高営業利益率は対前年比1.6%増の12.5%へ向上しています。

システム事業では、顧客専用デジタル映像監視システムの需要減少により、売上高は前年同期比17.2%減の16億5千1百万円、営業損失は1億8千4百万円(前年同期営業利益5千6百万円)となりました。

以上のように当社連結上半期は、業績面では減収増益という厳しい結果でした。しかしながら、事業展開に関してはアミューズメント、環境・エネルギーといった新分野でビジネスを立ち上げるなど、中長期的な「成長のシナリオ」を実現するための布石を着実に打つことができたと評価しています。

通期業績の見通しは？

厳しい経営環境が続きますが、新市場における製品投入などにより利益率の向上を目指します。

2010年3月期の下半期に関しても、上半期同様に既存分野の需要は伸び悩みが予想されます。このため2009年10月30日に通期の連結業績を下方修正しました(右上表参照)。ただ、今期初に策定した「新・中期

経営計画」(P8「中期成長戦略の進捗状況は?」で後述)に基づく諸改革を各事業部・セクションで推進中であり、下期にはそうした企業改革の成果が徐々に現れてくると期待しています。

そのひとつが「売上高営業利益率の向上」です。当社の営業利益率は、2007年3月期の6.5%から、2009年3月期の9.1%へと2年間で大きく向上してきています。当期においても、期初予想の9.3%をさらに上回る9.5%にまで伸びる見込みです。これは受託開発などの「顧客密着型ビジネス」の積極展開、この第4四半期から量産出荷を予定しているアミューズメント分野向け新製品の展開、さらに開発プロセスの効率化、原価・諸費用の削減といった地道な取り組みなどの総合的成果です。このように、厳しい経営環境の中において、中期経営計画に掲げた「高収益体質への改善」を、着実に進めてまいります。

2010年3月期 通期業績見通し

	修正見通し	期初予想	増減比
売上高	430億円	535億円	△19.6%
営業利益	41億円	50億円	△18.0%
経常利益	41億円	50億円	△18.0%
当期純利益	26.5億円	28億円	△ 5.4%
売上高営業利益率	9.5%	9.3%	0.2%

システム事業の収益改善について、今後の対策は？

映像監視システムのフルデジタル化の情勢に伴いビジネスチャンスを広げていきます。

当社のシステム事業の収益基盤は、セキュリティ・モニタリング用途の映像監視機器システムです。この市場では、犯罪の多様化、凶悪化を背景に画像の高品質化・高解像度が求められており、このため「すべての機器をデジタル化した、フルデジタルセキュリティシステム」へのニーズが急速に高まっています。こうしたフルデジタル化は当社システム事業の成長にとって大きなチャンス

であると捉えています。

当社は昨年度、これまで不採算であった不特定多数の顧客を対象にした自社ブランドのセキュリティ製品の事業を中止し、得意とする顧客専用分野にターゲットを絞り込みフルデジタルに対応した製品等を投入した結果、2009年3月期のシステム事業の売上高は前年比1.6倍の42億円と大幅に上昇しました。2010年3月期上半期については、景気後退を背景とする市場の設備投資意欲の低下から一時的な売上減となりますが、今後も引き続き特定顧客の用途に特化したセキュリティシステムに重点を置き事業を進める方針です。得意とする画像処理や通信技術を活用して製品ラインナップをさらに強化し、フルデジタルセキュリティシステム市場での収益機会を広げていきます。

中期の成長戦略の進捗状況は？

不況に強い事業ポートフォリオの構築に向け、事業の選択と集中、成長事業の育成を進めています。

景気の波に左右されない、安定した成長を果たしていくため、今期初に「新・中期経営計画」を策定しました。

その第一の柱は「顧客密着型ビジネスへの集中」です。顧客専用LSIや顧客専用システムのように、当社は従来から「顧客へのソリューション提供」を得意としてきましたが、今後さらにそうした「顧客密着型ビジネス」に集中していく考えです。画像・音声・通信などの得意分野において、システムLSIからシステム製品に至るまでの幅広い領域で自社開発を行える高い技術力を活かし、それぞ

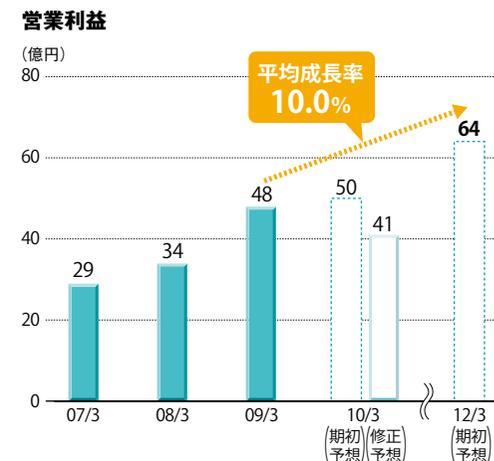
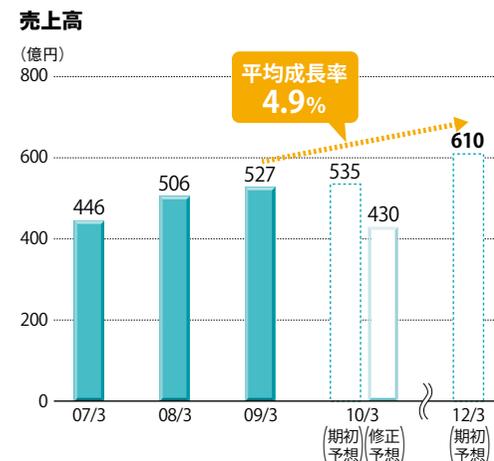
中期成長戦略の基本方針

顧客密着型のビジネスに集中
ビジネスモデルの多様化により幅広くソリューションを提供し、有力顧客に付加価値をもたらす顧客密着型ビジネスに注力

新たな事業を立ち上げ、事業ポートフォリオを構築
景気に左右され難いエコ・エネルギー分野市場への参入。成長事業への選択と集中により、事業ポートフォリオを構築

高収益化への体質改善
開発のスピードアップ、業務効率改善、在庫の縮減等で無駄を省き、事業効率向上と環境維持への貢献

中期経営計画の数値目標



れの顧客の抱える多様な課題に最適な解決策を提案していきます。すでに既存顧客との新規開発案件や、新規顧客との共同開発案件など複数のプロジェクトが動き出しています。またIPライセンスでも、画像処理フォーマットの新たな標準規格「JPEG XR(HD-Photo)」を武器に顧客密着型ビジネスの新展開を図っていく予定です。

第二の柱は「適正な事業ポートフォリオの構築」です。新規事業として、発展が期待されている環境・エネルギー分野への取り組みを開始しています。これらは景気に左右され難い分野でもあり、当社の中長期的成長を牽引する事業と位置付けて育成していきます。具体的な内容は、製品の企画、開発の途中でもあり、詳細はまだご紹介できませんが、提案活動と製品開発案件の発掘を着々と進めています。また、アミューズメント(パチンコ)機器分野への取り組みも開始しており、ゲームソフト用メモリーで培ったノウハウを活用し、第4四半期から取

中期成長戦略として目指す 事業ポートフォリオと ターゲット市場

既存事業で強化・集中を進めつつ
新たに2つの事業を立ち上げ、
適正な事業ポートフォリオを構築

益性の高い製品の量産出荷を予定しています。もちろん既存事業においても、成長分野への「選択と集中」により、事業ポートフォリオの適正化を進めており、中長期での事業拡大を目指していきます。

第三の柱は「高収益体質への改善」です。厳しい経済状況の中でも勝ち残れる企業になるために、アライアンスの活用、開発段階からの原価コントロール、生産工期の短縮、在庫圧縮、業務効率の改善などの諸施策を進めています。こうした努力が営業利益率の改善につながっています。

2011年3月期～

戦略的
進出市場

家庭インフラ
エネルギー
エコ市場

中長期における将来の収益の柱のひとつ

2010年3月期～

新規市場

アミューズメント市場など

新規顧客開拓

既存市場

ゲーム市場



セキュリティ市場



デジタル家電市場



収益の柱の強化、拡大

有力顧客に向け顧客専用製品に集中

国内半導体業界再編の報道を目にするがこうした厳しい市場環境の影響は？

A 工場をもたないファブレスメーカーであり、製品の多くが高付加価値LSIであるため、半導体市況の影響は相対的に小さいと考えています。

デジタル機器の市場拡大と高機能化を背景に、顧客からの要請がますます高度化・多様化する中、多くの半導体大手は、思い切った設備投資に踏み切れず、一方で厳しい価格競争に晒されているのが現状です。しかし、当社のような「ファブ(工場)レス」企業は、こうした状況下でも多額の生産設備投資や工場稼働率に捉われることなく、技術開発力(=頭脳)のみで勝負できることが大きな利点です。また、当社売上高の9割以上を占める「高付加価値システムLSI」は、DRAMやフラッシュメモリーのようなコスト・パフォーマンスで勝負する汎用製品とは異なり、半導体市況の直接的な影響を受けにくく、付加価値の高い製品の開発→高収益→その収益を技術開発へ投資、という好循環を構築できます。

さらにファブレス企業には、市場の急速な変化に合わせて身軽にベクトルを修正できるメリットもあります。不況下の現在、当社の顧客メーカーの多くは自前での開発を諦め、「外部」の活用によってコストを抑えつつ高度な機能を短期間で実現する方針を打ち出してきました。こうした動きに対応し、当社はLSI単体だけでなくボード、モジュールから最終製品、システム、IPに至るまで、顧客のあらゆるニーズを解決する「ソリューション」を提供できる態勢を整えています。その意味で現在の市況は、当社にとってむしろ大きなチャンスであると捉えています。



利益配分に関する方針は？

A 剰余金配当は当期純利益の30%程度、または連結純資産配当率2%程度のいずれか高い方を基本に行います。

2009年3月期までの利益配分については、連結業績と財政状態を考慮し、連結当期純利益の30%程度と、1株当たり年間10円のいずれか高い方とする方針のもと、2009年3月31日現在の株主様に対して、1株当たり年間33円の配当を実施しました。

2010年3月期以降については、配当性向30%程度、または連結純資産配当率(DOE)2%程度の、いずれか高い方を基本に、連結業績、財務状況、投資計画などを考慮して決定することに変更しました。この変更は、配当額を決める指標として、短期的な業績だけでなく、比較的安定している純資産も指標に組み入れることで、株主の皆様への安定配当を実現していくことにあります。また、今後も市場や事業環境などを総合的に勘案し、機動的に自己株式取得を適宜実施することで、株式価値と資本効率の向上に努めつつ株主様のご期待にお応えできるよう努力を続けていきます。

2009年12月
代表取締役社長

鶴飼幸弘

IR Information

皆様とのコミュニケーションをさらに深めていきます。

今後の活動予定 (IRカレンダー)



※日程は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

IRサイトのご紹介

見やすく!使いやすく!ホームページをリニューアルしました。

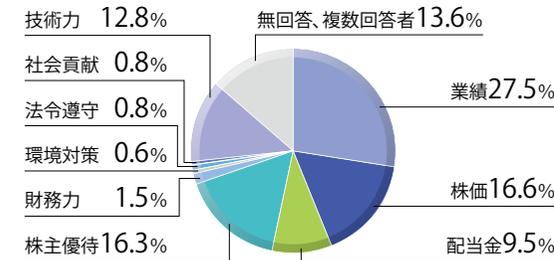
<http://www.megachips.co.jp/irinfo/> または

- 最新の決算内容を知りたい。
「最新決算報告」をクリック!
四半期決算の最新情報をご覧いただけます。決算短信はもちろん、決算報告に関するFAQ (質問と回答)やアナリスト向け決算説明会の動画配信など、当社の今がわかります。
- MCCIRなどのバックナンバーが見たい。
「IR資料室」をクリック!
MCCIRをはじめ、決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料、リニューアルレポートなど、各種IR資料をPDFファイルでご覧いただけます。
- 業績のトレンドを知りたい。
「業績・財務情報」をクリック!
過去5か年の業績・財務のトレンドを、各種経営指標とともにご覧いただけます。

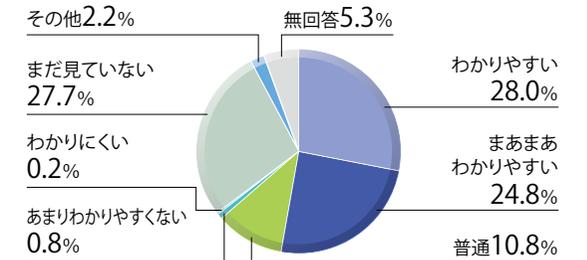
株主様アンケート結果報告

「MCCIR Vol.11」誌上のアンケートにおいて、株主の皆様から1,248名のご回答をいただきました。その結果をご報告します。

当社の経営にもっとも期待する点は?



新しくなった当社ホームページIR情報のわかりやすさは?



主なご質問・ご意見に対する回答

1 中間配当は実施されないのでしょうか。

期末配当以外の配当の実施につきましては、「事務手続きの増加等によるコストアップ」は避けられず、慎重に検討した結果、現在のところ実施の予定はございません。

なお、当社の配当方針につきましては、P10「社長が語る業績と戦略」の「Q 利益配分に関する方針は?」をご覧ください。

2 株主優待をいつも楽しみにしています。特にゲームソフトが楽しみなのですが、次回の優待はどのような内容か教えてください。

当社は、毎年3月31日現在で100株以上ご所有いただいている株主様へ6月上旬より株主優待カタログをお届けしています。⇒詳細は、P13「2009年度の株主優待制度について」をご覧ください。

次回お届けする優待カタログに掲載するゲームソフトにつきましては、決まり次第当社ホームページにてお知らせします。現在の予定は、2010年4月の下旬から5月上旬にお知らせできる見通しです。(ホームページ > 投資家情報 (IR) > 株式情報 > 配当・株主優待)

ウェブ閲覧環境の無い方は、お電話にて当広報部までお問合せください。

3 御社の成長を支える技術力に期待しています!

当社はP3-4「メガチップスの特徴と強み」の記載のとおり、「研究開発型ファブレスメーカー」としてファブ(工場)に捉われることなく研究開発に集中し、常に先端の技術に注力できるため、顧客が求める最新技術を提供し信頼を得ています。

既にファブレス半導体メーカーでの売上げ規模は、日本でNo.1だと自負していますが、今後はさらにご期待に沿える様、世界でも有数なファブレス企業を目指す所存です。

4 製造現場の品質管理等の手法が知りたいです。

ファブレス企業は生産を外部へ委託しておりますが、当社では品質の管理・保証を徹底するため、技術に精通した品質保証部と生産委託先が連絡を密にし、製造工程を厳しくチェックしています。また、既に顧客に提供した当社製品が、万が一の品質トラブルが発生した場合も、生産委託先と当社双方が原因調査をし、迅速かつ正確に対処できるよう連携をとっています。

こうした取組みにより、品質保証の国際規格ISO9001の認証も取得しています。

具体的な取組みの詳細につきましては、当社ホームページでもご案内しています。(ホームページ > 会社情報 > 品質・環境への取り組み > 品質マネジメント)

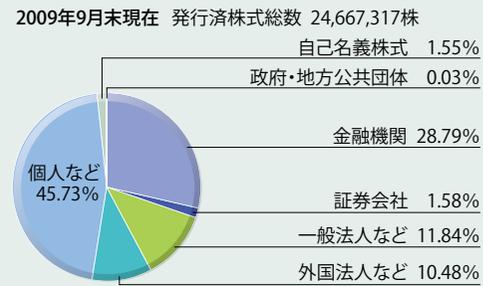
ウェブ閲覧環境の無い方は、同資料を送付いたしますので、当広報部までお問合せください。

当社の株主構成

株主数推移



所有者別株式分布



2009年度の株主優待について

メガチップスでは、株主の皆様の日頃のあたたかいご支援に対して感謝の意を表するため、株主優待制度を設けています。

本年も3月31日現在で当社株式を100株(1単元)以上ご所有いただいております株主の皆様へ6月初旬より心ばかりの品を贈呈させていただきました。本年度は、株式会社高島屋の提供する商品カタログの中から、株主の皆様が希望される商品1点(3,000円相当)、または任天堂株式会社製ニンテンドーDS[®]用ソフトの中から1点をご優待品としてお届けしました。

メガチップスは株主の皆様の株式価値向上のひとつとして、今後とも株主優待制度を継続したいと考えています。

NINTENDO DS・ニンテンドーDS・ディーエス/DSは任天堂の登録商標または商標です。



ワンセグ受信アダプタ DSテレビ *1



マリオ&ルイージRPG3!!! *2



メイドイン俺 *3



ポケットモンスター ブラチナ *4



株式会社高島屋カタログ

2009年度株主優待結果

- 株主優待対象株主数 21,428名
- 株主優待行使株主数 21,361名
【ご参考】カタログ商品17,714名+ゲームソフト3,647名
- 株主優待未行使株主数 67名

ご注意

株主優待は、毎年3月31日現在の株主名簿に記載された、100株(1単元)以上のご所有の株主様を対象に行っています。株主名簿は株主様からお届けいただいた情報を基に作成しておりますので、ご転勤などでご住所を変更される場合は、証券会社等口座開設先に必ず住所変更届をご提出ください。(株主優待に関する当社からのご案内書をお届けできない場合が少なからず発生しております。)なお、株主優待品につきましては、申込受付期日を過ぎますとお受けできなくなりますので、ご注意ください。

2010年度株主優待に関する決定について

2010年度の株主優待に関する内容は、2010年1月~2月頃に決定します。決定後、当社ホームページにその決定内容を掲載いたしますのでご承知おきください。

人気優待品ベスト30 本年度株主様にご選定されました優待品のうち、人気ベスト30をご紹介します。

順位	優待品(申込商品)	順位	優待品(申込商品)	順位	優待品(申込商品)
1	ワンセグ受信アダプタ DSテレビ	11	星のカービィ ウルトラスーパーデラックス	21	ロイヤルシェフカラーセット
2	マリオ&ルイージRPG3!!!	12	NEWSスーパーマリオブラザーズ	22	わがままファッション ガールズモード
3	十勝白い牧場 アイスクリーム	13	立体ピクソス	23	マリオパーティDS
4	メイドイン俺	14	電子辞書 日本語	24	平牧三元豚 焼肉セット
4	ポケットモンスター ブラチナ	15	DS美文字トレーニング	25	蔵王牛 すき焼用
6	フライパン	16	山形県産 川中島白桃	26	無添加みそ
7	ポケモン不思議のダンジョン 空の探検隊	17	大合奏バンドブラザーズDX	27	肩ロース詰合せ
8	山梨県産 水蜜桃	18	料理包丁	28	三輪素麺
9	リズム天国ゴールド	18	おいでよ どうぶつの森	29	蔵王牛モモステーキ
10	ハム詰合せ	20	山形県産 紅将軍りんご	30	ボールハンガー

*1 ワンセグ受信アダプタ DSテレビ © 2007 Nintendo
*2 マリオ&ルイージRPG3!!! © 2009 Nintendo Developed by ALPHADREAM

*3 メイドイン俺 © 2009 Nintendo Co-developed by INTELLIGENT SYSTEMS
*4 ポケットモンスター ブラチナ © 2008 Pokémon. © 1995-2008 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリエーション・ゲームフリークの登録商標です。

会社概要 (2009年9月30日現在)

会社商号 株式会社メガチップス
 英文商号 MegaChips Corporation
 事業所 本社
 〒532-0003 大阪市淀川区宮原四丁目1番6号 アクロス新大阪
 TEL. 06-6399-2884(代表) FAX. 06-6399-2886
 東京オフィス
 〒102-0082 東京都千代田区一番町17番地6 一番町MSビル
 TEL. 03-3512-5080 FAX. 03-3262-3598
 設立 1990年4月4日
 上場 東証1部(証券コード6875)
 資本金 4,840百万円
 従業員数 263名
 事業内容 システムLSI、自社システムLSIを使った電子部品およびシステム製品の設計・開発・販売

役員 代表取締役社長 鵜飼 幸弘
 取締役副社長 林 能昌
 取締役副社長 松岡 茂樹
 取締役・執行役員 藤井 理之
 取締役・執行役員 角 正
 取締役・執行役員 古都 哲生
 取締役 水野 博之(社外取締役)
 取締役 山田 園裕(社外取締役)
 常勤監査役 辻 見津男
 監査役 小原 望(社外監査役)
 監査役 北野 敬一(社外監査役)
 監査役 中西 藤和(社外監査役)

*取締役 水野 博之氏および山田 園裕氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 *監査役 小原 望氏、北野 敬一氏および中西 藤和氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株主メモ

決算日 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 毎年3月31日
 配当基準日 毎年3月31日
 この他、取締役会の決議により、予め公告して基準日を定めることができます。

1単元の株式数 100株
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業部
 電話 0120-094-777(通話料無料)

公告の方法 電子公告により行います。
 公告掲載URL <http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6875/6875.html>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)

(ご注意)
 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
 2.特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。
 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払します。

IR活動の充実に向け、アンケートにご協力ください

当社は、株主の皆様のご意見をIR活動に反映させることが、コミュニケーションを深めていく上で重要であると考えています。つきましては、**アンケートハガキ**にご回答くださいますよう、よろしくお願いたします。

(2010年2月28日まで受付)

Q1.どこで当社をお知りになりましたか。1つお答えください。

- 新聞 株式・経済情報誌 インターネット
証券会社 会社四季報
その他()

Q2.当社株式をご購入された理由を教えてください。(複数回答可)

- 成長性 収益性 経営理念 財務体質
配当 優待 その他()

Q3.投資の際に参考にされている情報源を教えてください。(複数回答可)

- 各社ホームページ 株主通信・事業報告書
アナリシスレポート 新聞 株式・経済情報誌
投資情報ウェブサイト 掲示板サナ
有価証券報告書(四半期報告書) テレビ、ラジオ
証券会社 会社四季報
その他()

Q4.当社の経営に期待する点について1つお選びください。

- 業績 株価 配当金 株主優待 財務力 環境対策
法令遵守 社会貢献 技術力

Q5.当社ホームページのIR情報はいかがでしたか?

- わかりやすい まあまあわかりやすい 普通
あまりわかりやすすくない わかりにくい まだ見えない
その他()

Q6.当社に対するご意見ご要望をお聞かせください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。